

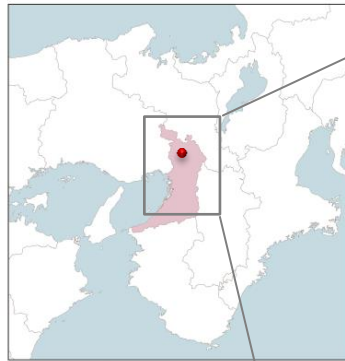
「関西スポーツ科学・ヘルスケア総合センター（仮称）」 第1回関係者連絡協議会

資料2

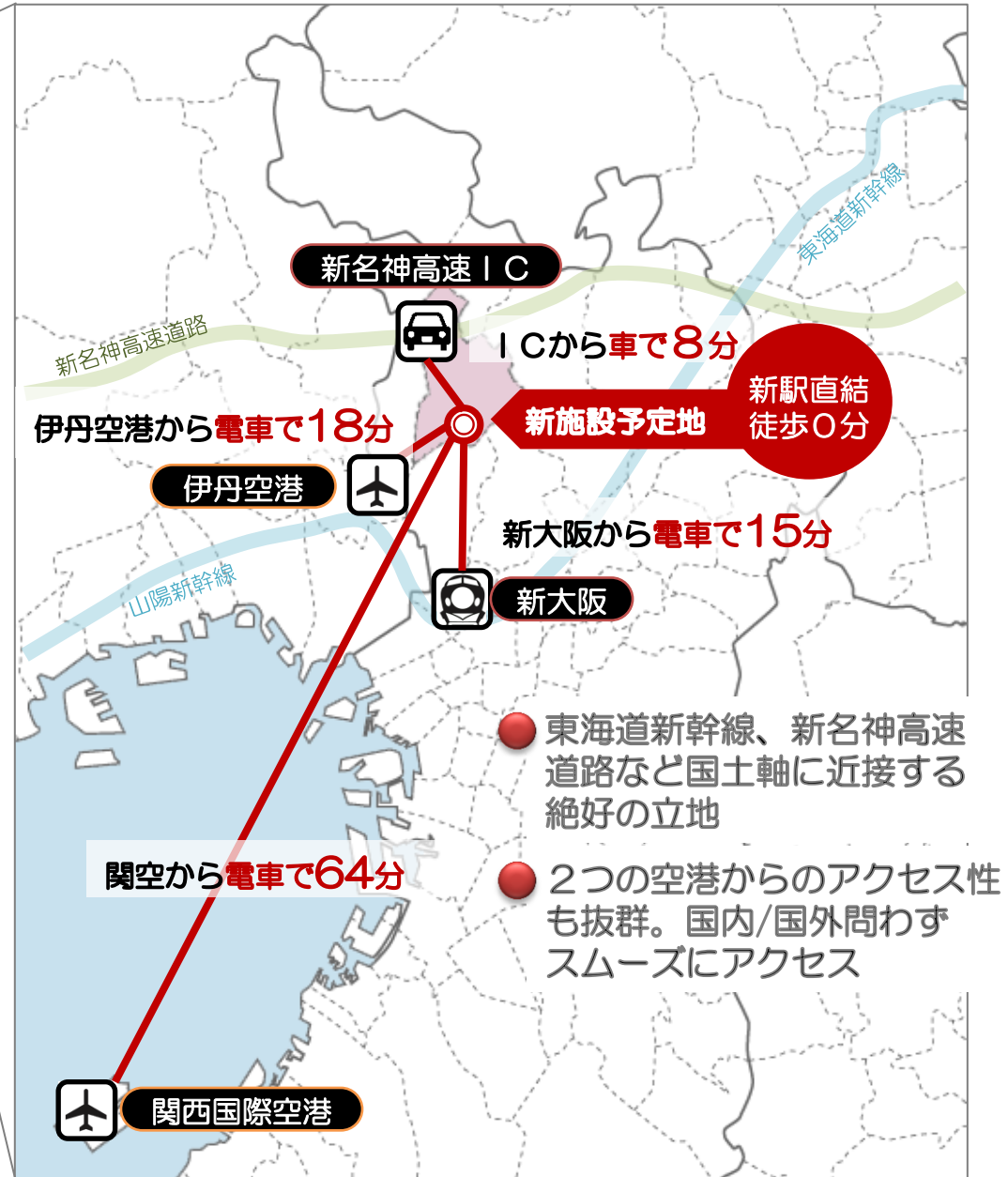
船場地区のポテンシャルとまちづくりの状況について

平成26年11月
箕面市 地域創造部 北急まちづくり推進課

1. 箕面船場の「地の利」抜群のアクセス性



豊かな緑と至極の利便性



A map of Europe with a red dot in the Iberian Peninsula and a black box indicating the location of the study area.

大阪大学医学部、同附属病院を始めとし
た医療・バイオ関連施設が周辺に集積。

関西イノベーション国際戦略特区
(彩都西部地区)

大阪大学箕面キャンパス

ライフサイエンスパーク (彩都)

産業技術総合研究所

大阪大学吹田キャンパス
(医学部)

大阪大学豊中キャンパス

大阪大学医学部附属病院

国立循環器病研究センター

千里ライフサイエンスセンター

大阪バイオサイエンス研究所

新施設予定地

関西イノベーション国際戦略特区
(阪大吹田キャンパス/国立循環器病研究センター)

関西イノベーション国際戦略特区の区域を新施設予定地に拡大し、**大阪府・箕面市のダブル税制優遇**措置により、

- 法人税：国税軽減／地方税ゼロ
- 固定資産税の課税免除

・・・を実現し、
特区をフル活用した企業集積を促進。

先端的なシーズや研究成果を実用化し、市場化に結び付けるイノベーションの発信地に！

3. 箕面船場の周辺環境

緑ゆたか

明治の森国立公園までバス10分。
自然たっぷりでトレーニング、リハビリ等の好適地。



新施設予定地周辺は、新大阪から
15分の好適地にありながら
自然に恵まれた快適空間。

人材リソース

大阪大学外国語学部に近接して
おり、医療通訳や多国語サポ
ーターなどの国際人的資源が潤沢。



国際交流



多文化交流センター@箕面市
【国際交流の拠点】

家族で居住する外国人市民も多く、
インターナショナルスクールもあり、
草の根レベルの国際交流がさかん。



4. 船場団地の現状と今後のまちづくりについて

船場地区の経緯

船場団地の創設

船場地区は、昭和45年の大阪船場繊維卸商団地の開業以来、特別業務地区として発展してきました。

現状

現在、団地の創設から43年が経過し、建物の老朽化が目立つようになっていきます。

また、創設当時から比べると、繊維業をとりまく社会情勢も変化し、ビルや倉庫などに空きが生じるなどリソースが十分活かされていない状況です。



造成を終えた船場団地（昭和45年頃）

今後のまちづくりの方向性

基本の方向性

船場地域においては、鉄道の延伸により“物流のまち”から“人流のまち”へと転換させていくことを念頭に置きながら、特別業務地区として発展してきたまちの特性を活かし、船場繊維卸商団地の再整備を中心に、新たな企業誘致によるまちの活性化を目指していきます。

めざす取り組み

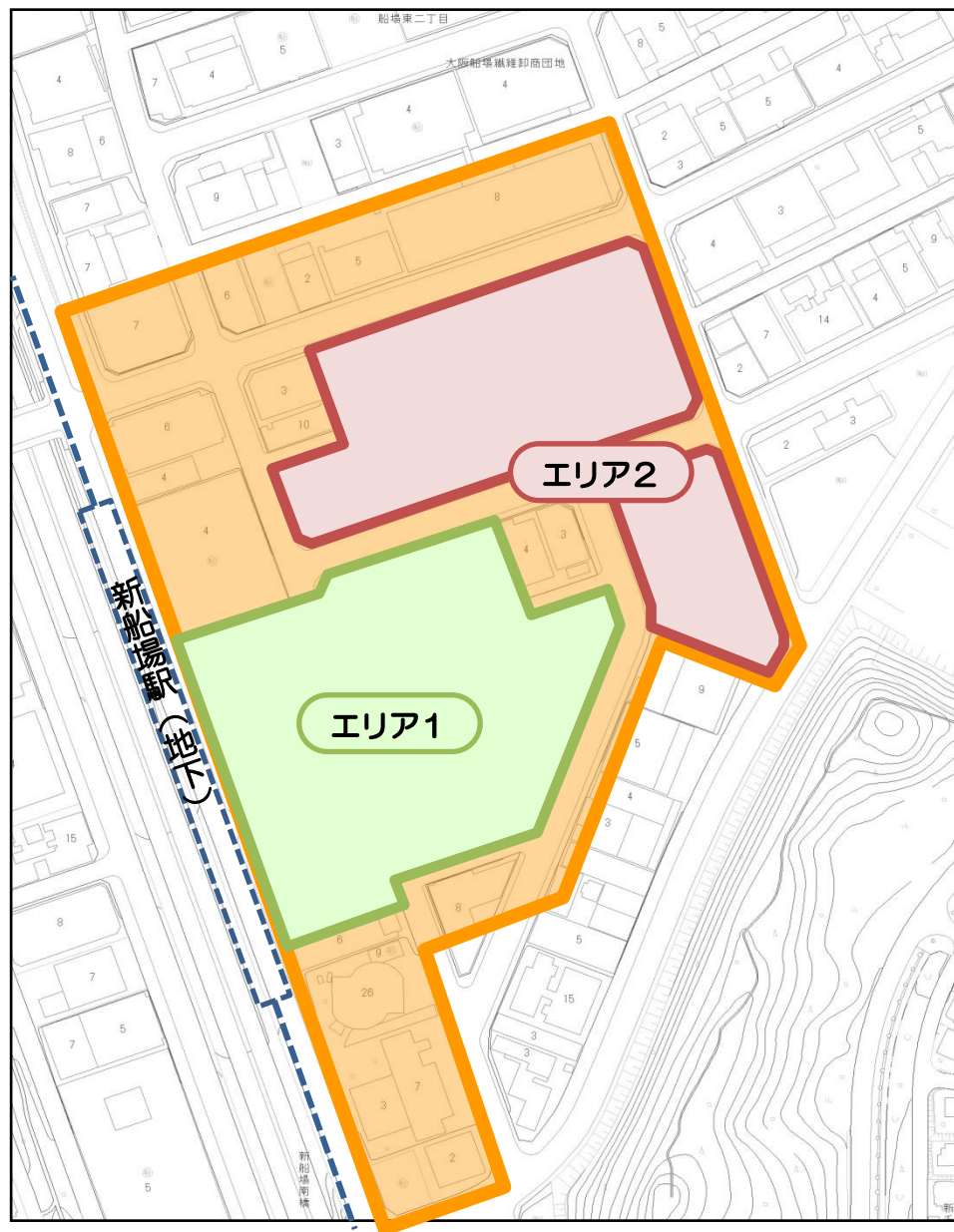
駅周辺は次代を見据えた新産業を担う地区として医療、健康、福祉産業や環境、教育など新たな産業の核となる施設を誘致します。

駅周辺以外の地区については、企業等の集積を図っていくとともに、デザイン工房など新規企業家のインキュベーター機能やカフェなどの交流空間も付加し、様々な機能が連携した一体的なまちづくりを推進していきます。



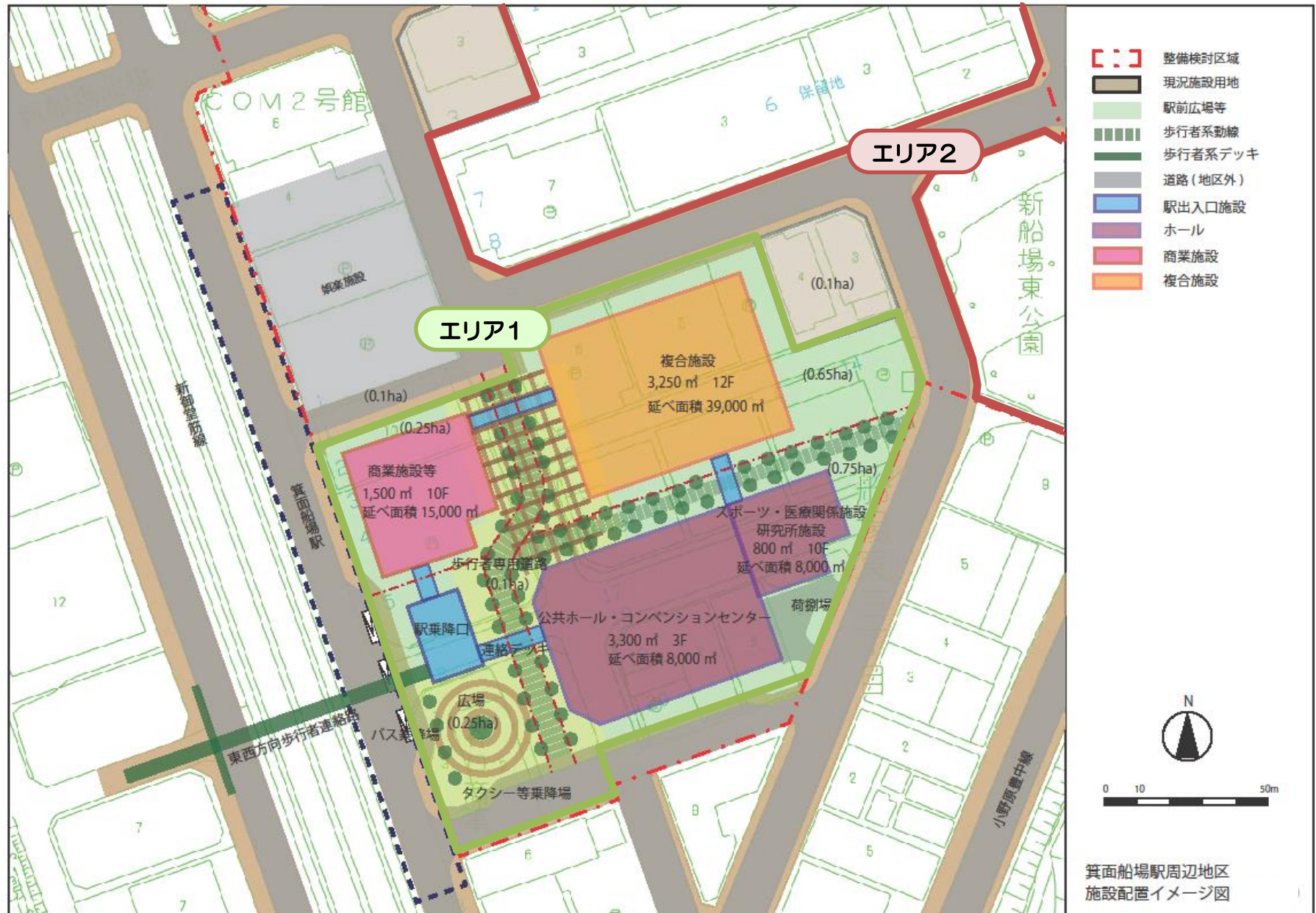
現在の船場団地

5. 土地区画整理の位置図

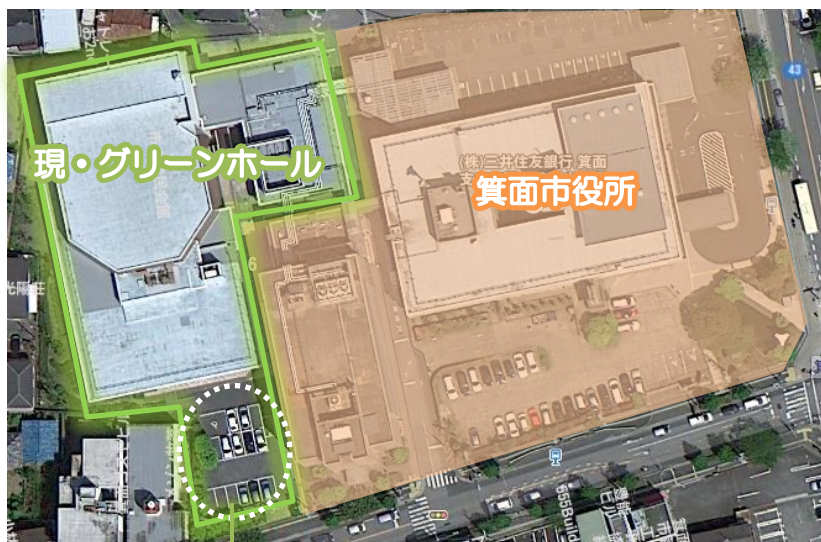


- ▶ 駅周辺整備地区（6ha）のうち、今回はエリア1及びエリア2の土地区画整理を行う予定。
（平成26年6月：箕面船場駅周辺土地区画整理準備組合設立）
- ▶ エリア1及びエリア2以外の駅周辺整備地区については、左記エリアの整備後に随時まちづくりを行っていく予定。

6. 駅周辺地区の配置イメージ



7. 公共ホール（市施設）の移転計画



駐車場16台

現・グリーンホール（1,000席）

（箕面市役所の西隣）

課題

- ・建物（築48年）が老朽化し、大規模改修や維持管理コストが増大
- ・音響設備の古さなどで良いコンテンツが企画できない
- ・アクセスが悪く集客力がない
- ・駐車場が少なく車利用の多いイベントは他市へ流出

移転を計画

箕面船場駅周辺は
移転先として**最有力候補**

箕面船場駅なら

アクセス性が抜群！

新駅直結・徒歩0分が実現

広域からの集客も可能

魅力あるコンテンツの展開により、箕面市民だけでなく大阪都心や大阪南部からも集客が可能

新しいまちの魅力付け

“文化” をコンセプトにしたまちの核になりうる

8. 公共ホール（市施設）整備イメージ



公共ホール

(整備イメージ)

- 大ホール 1,200席
- 会議室
- リハーサル室
- スタジオ ほか

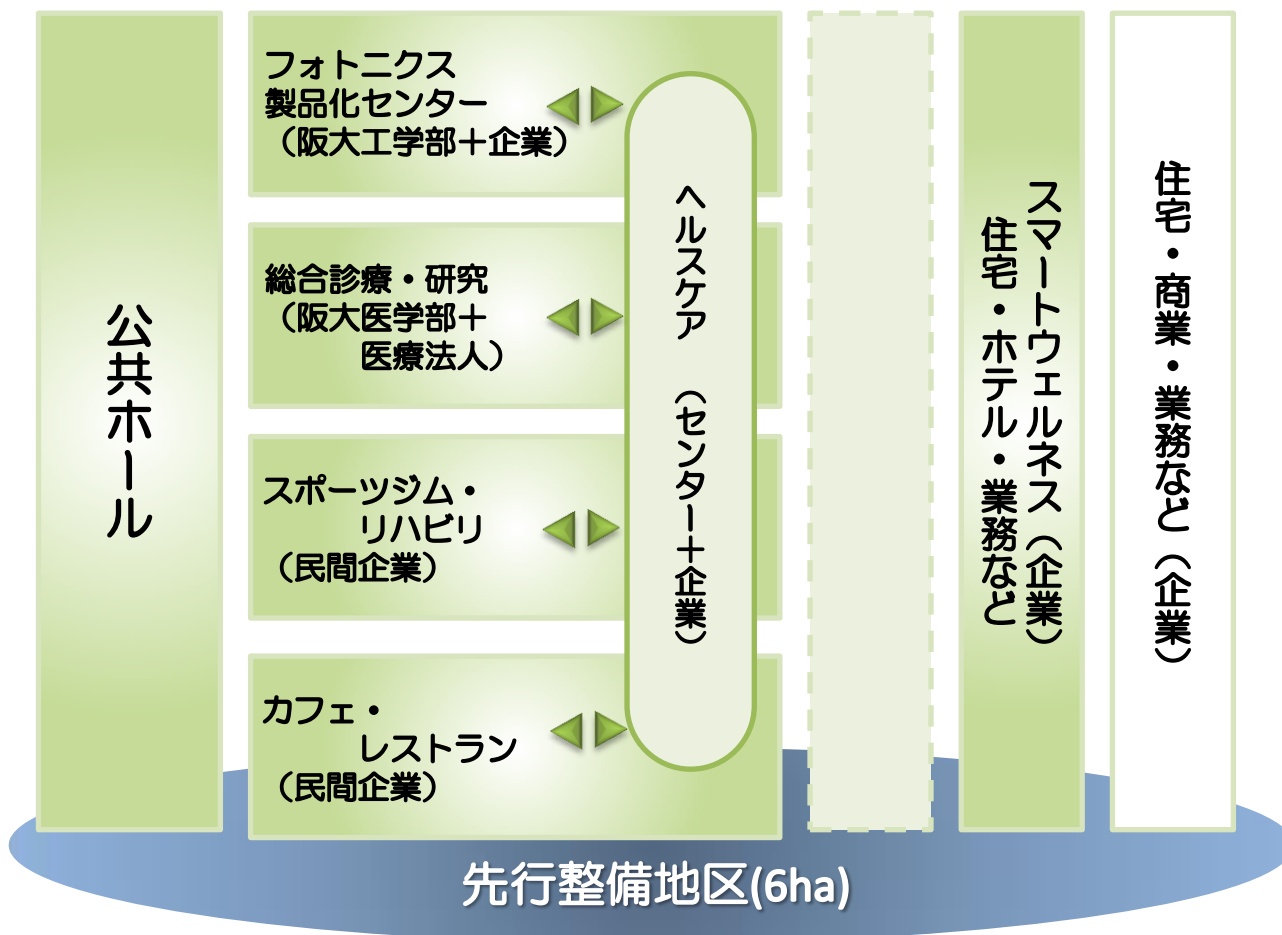
建築面積 約3,000㎡
延床面積 約8,000㎡

※施設設計モデルプランから抜粋
※現時点での検討イメージであり
決定したものではありません

9. 新拠点のイメージ

新拠点のイメージ

(別棟または拡張の場合)



関連産業の 集積イメージ

(フォトニクス+ヘルスケア)

